

2027 S A
G A
B I
—

2027年度
嵯峨美術大学大学院
芸術研究科 [修士課程]
学生募集要項

目次

教育目標	2
アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー	2
募集人員	3
入学試験日程	3
出願資格	3
選考方法	4
(提出資料について)	4
出願手続 (出願書類)	5
(入学検定料・出願期間・出願方法・出願上の注意事項)	6
(受験に関する注意事項)	7
合格発表・スカラシップ (特別奨学生) 制度・学費	8
入学手続・事前確認	9
大学院 芸術研究科 教員情報一覧	10～14
<提出書類セット>	
入学願書	様式 1
受験票	様式 2
研究計画書	様式 3
ポートフォリオ表紙/作品・研究論文自己作成証明書	様式 4
志願者調書 (留学生用)	様式 5
学費支弁に関する誓約書 (留学生用)	様式 6

芸術研究科（修士課程）の教育目標

学部教育の理念を継承し、専門分野の知識や理論、技術を深めるとともに、芸術の諸分野への視野を広げ、総合的な企画力を身につけ、その表現や研究成果を発信することによって社会に貢献できる人材を育てる。

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

嵯峨美術大学大学院芸術研究科修士課程は、以下のような学生を求める。

- ・芸術分野の知識や技術および実績を持ち、さらに研究を深めたい人。
- ・幅広く文化芸術に関心を持ち、その発展と融合を図り、新しい提案をしたい人。
- ・総合的な表現力と企画力、発信力を養いたい人。

カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）

芸術研究科修士課程は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。

- [研究力] 専門知識と技能を深め、自ら見出した研究課題に取り組む姿勢を身につける。
[思考力] 自ら見出した研究課題を多方面から検証するための論理的な思考力を養成する。
[発信力] 自身の研究を社会の中で実践的に活用する能力を養う。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

芸術研究科修士課程は、以下を満たしていると評価されたものに修士の学位を授与する。

- [研究力] 独自性のある表現や研究方法の構築。
[思考力] 研究課題を多方面から検証し、芸術理論を構築する能力。
[発信力] 自身の研究成果を社会に伝える発信力の修得。

科目区分		必修単位数	修了要件単位数
基幹科目	選択科目	8単位以上	32単位以上
	選択必修科目	8単位	
	必修科目	8単位	
展開科目	選択科目	8単位以上	

募集人員

専攻	専攻分野	募集人員	
		前期	後期
芸術研究科 修士課程 芸術専攻	造形分野 デザイン分野	5名	3名

入学試験日程

	前期	後期
出願期間	9月9日(水)～9月14日(月) 国内:消印有効 海外:必着	12月7日(月)～ 12月11日(金) 国内:消印有効 海外:必着
一次(書類)審査合格発表日	10月5日(月)	2027年2月5日(金)
二次(面接)審査試験日※	10月11日(日)	2027年2月18日(木)
合格発表日	10月16日(金)	2027年3月4日(木)
入学手続締切日(1次)	12月1日(火)	2027年3月16日(火)
入学手続締切日(2次)	2027年1月8日(金)	

※一次審査合格者のみ

出願資格

本学大学院入学時(2027年4月1日)において22歳以上で、次のいずれかに該当する者、または2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

- ①日本および外国の4年制大学を卒業した者。
- ②大学改革支援・学位授与機構の行う審査に合格し、学士の学位を取得した者。
- ③文部科学大臣の指定した者。
- ④本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

<外国人留学生>

本学大学院入学時(2027年4月1日)において22歳以上で、次のA・B・Cのすべての条件を満たす者。

- A. 出願時に「留学」の在留資格を有する者。
- B. 次のいずれかに該当する者、または2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
 - ①日本および外国の4年制大学を卒業した者。
 - ②大学改革支援・学位授与機構の行う審査に合格し、学士の学位を取得した者。
 - ③外国において学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位を取得した者。
 - ④文部科学大臣の指定した者。
 - ⑤本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
- C. 出願時点で以下のaかbのいずれかに該当する者。
 - a. 日本語能力試験(JLPT)N1に合格していること。
 - b. 日本留学試験(EJU)の2025年度第1回・第2回、2026年度第1回のいずれかを受験し、「日本語」科目において、「記述」を除く「読解/聴解・聴読解」で280点以上を取得していること。

※下記のいずれかに該当する者は、日本語能力に関する条件は求めません。

- a. 嵯峨美術大学を卒業した者、または2027年3月31日までに卒業見込みの者。
- b. 嵯峨美術短期大学専攻科を修了、または2027年3月31日までに修了見込みの者のうち、大学改革支援・学位授与機構の行う審査に合格し、学士の学位を取得した者または取得見込みの者。

選考方法

(1) 一次審査（書類選考）

出願書類に基づき一次審査(書類選考)を行い、二次審査(面接選考)対象者を決定します。
対象者(一次審査合格者)には「二次審査(面接選考)の案内」を送付します。

専攻分野	試験内容	提出資料
造形分野 デザイン分野	書類選考	出願時に①または②のどちらかを提出 ①ポートフォリオ ②研究論文（コピー）

(2) 二次審査（面接選考）

一次審査合格者を対象に行い、最終合否を決定します(一次審査不合格者は受験できません)。

専攻分野	試験内容	持参物
造形分野 デザイン分野	面接	①または②のどちらかを持参 ①過去1年以内に制作した作品1点(注1) ②研究論文（原本）

(注1) デジタルデータによる作品や映像作品(1分以内にまとめたもの)の場合は、ノートパソコン等を持参して作品が見られるようにすること。コンピューターなどの機材(インターネット環境を含む)の貸し出しは行いません。

(3) 提出資料等について

<一次審査>

- 「ポートフォリオ」を選択する場合
作品のポートフォリオは1冊にまとめ、出願時に必ず提出してください。
掲載する作品の制作年は問いません。
- 「研究論文」を選択する場合
研究論文のコピーを出願時に必ず提出してください。

提出方法：出願書類とともに簡易書留・速達で郵送(宅配便等の利用も可)
または持参により入学広報グループまで提出してください。

※提出されたポートフォリオ、研究論文は返却しません。

<二次審査>

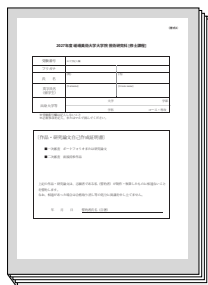
- 「作品」を選択する場合
過去1年以内に制作した作品1点を試験当日に持参してください。
作品は自らの責任で搬入・搬出が可能なものに限り、本学での事前受取、および返送は一切行いません。
- 「研究論文」を選択する場合
研究論文の原本を試験当日に持参してください。

<提出資料に関する注意事項>

- 作品や研究論文には卒業制作作品等を含みます。
- 本学所定用紙(様式4)をポートフォリオ、または研究論文の表紙として必ず使用してください。
志願者本人の制作であることを誓約するため、「作品・研究論文自己作成証明書」(様式4・下部)に署名してください。

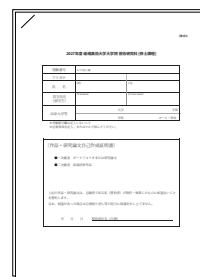
ポートフォリオ

A4サイズのクリアファイル等にまとめ、様式4を表面に貼り付けてください。



研究論文

様式4を表紙にして、左上をホッチキス留めしてください。



出願手続

(1) 出願書類

※書類はボールペンで記入（消せるタイプは不可）

	一 般	留学生	様 式	備 考
①入学願書	○	○	所定用紙 様式1	3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm)を貼付。(背景なし、上半身、脱帽、正面向、カラー・白黒いずれも可) 裏面に入学検定料納入証明書類を貼付(P.6参照)。
②受験票	○	○	所定用紙 様式2	必要事項を記入
③成績証明書	○	○	出身大学(学校)が発行 (コピー可)	1. 専攻科修了(見込)者は本科・専攻科分とも提出してください。 2. 大学卒業以外の資格で出願を希望する方については、その成績を確認できる書類を提出してください。 ※証明書が日本語・英語以外の言語で記載されている場合は翻訳文も添付。 (詳細はP.6～7「出願上の注意事項」を参照。) ※中国の高等学校を卒業した方は、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する成績認証書(英語版)を提出してください。
④卒業(見込)証明書	○	○	出身大学(学校)が発行 (コピー可)	1. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方は、学位記の写し(取得見込の方は授与申請を受理した証明書)も提出してください。 2. 大学卒業以外の資格で出願を希望する方については、その資格を確認できる書類を提出してください。 ※証明書が日本語・英語以外の言語で記載されている場合は翻訳文も添付。 (詳細はP.6～7「出願上の注意事項」を参照。) ※中国の高等学校を卒業した方は、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する学歴認証書(英語版)を提出してください。
⑤研究計画書	○	○	所定用紙 様式3	必要事項を記入してください。指導教員は入学後に面談のうえ決定します。希望する教員が指導教員にならない場合もあります。
⑥作品のポートフォリオまたは研究論文のコピー	○	○	所定用紙 様式4を表紙に使用	出願時に必ず提出してください。 提出にあたっては、P.4を参照
⑦志願者調書	/	○	所定用紙 様式5	学歴、日本語学習歴、職歴は各在学(職)年月等を正しく記入してください。
⑧学費支弁に関する誓約書	/	○	所定用紙 様式6	1. 学費支弁者は志願者の在学期間中の学費等一切の必要経費について責任を負うこと。 2. 学費支弁が本国からの送金による場合、残高証明書等の提出を求めることがあります。
⑨日本語能力証明書類	/	○		1. 日本語能力試験(JLPT)の場合 合格結果通知書、日本語能力認定書、成績証明書のいずれか(コピー可) 2. 日本留学試験(EJU)の場合 2025、2026年度受験者は「志願者調書」の所定欄に受験番号を記入
⑩パスポートのコピー	/	○		パスポートのコピー(顔写真ページ)を提出してください。
⑪在留カードのコピー	/	○		在留カード両面のコピーを提出してください。

(2) 入学検定料

30,000円（入学検定料は一次審査の可否に関わらず一律30,000円です）

下記振込先まで、銀行窓口、ATM、インターネットバンキングのいずれかから出願期間内に納入してください。

銀行名：京都銀行
支店名：帷子ノ辻（カタビラノツジ）支店
預金種目：普通預金
口座名：学）大覚寺学園 ガク）ダイカクジガクエン
口座番号：3412226
振込金額：30,000円（振込手数料は志願者負担）

<振込時の注意>

- ・振込依頼人名の欄には下記の内容を入力してください。
10 + 志願者氏名（カタカナ）入力例：10 ｶｶ ﾎｺ
※番号と志願者氏名の間は空けずに続けて入力してください。
- ・入学願書裏面に入学検定料を納入したことを証明する下記いずれかのコピーを貼付してください（原本は各自で保管）。
銀行窓口で振込の場合：振込金受領書
ATMで振込の場合：利用明細
インターネットバンキングで振込の場合：振込取引明細画面を印刷したもの

(3) 出願期間

試験種別	出願期間
前期	9月9日（水）～9月14日（月） 国内：消印有効、海外：必着
後期	12月7日（月）～12月11日（金） 国内：消印有効、海外：必着

(4) 出願方法

- ・郵送：市販の角2封筒等を使用し、以下のとおり送付してください。
国内から出願する場合：簡易書留・速達で郵送（消印有効）
海外から出願する場合：追跡が可能な国際郵便（EMS等）で送付（締切日必着）
※封筒には「大学院出願書類在中」と朱書きしてください。
〔送付先〕〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ 宛
- ・持参：入学広報グループ窓口まで提出してください。
【受付時間】 [平日] 10:00～17:00
土日祝及び事務局休業日は受付できません。

(5) 出願上の注意事項

- ①出願書類に不備がある場合は受理できません。必要な書類が揃っているか必ず確認して出願してください。
- ②出願書類受理後は、出願事項の変更を認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は入学広報グループまで連絡してください。
- ③いったん納入された入学検定料は返還いたしません。ただし、次の事由に該当する場合は返還を認めることがあります。該当する方は入学広報グループ（TEL. 075-864-7878）まで問合せってください。
 - ・入学検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合
 - ・入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合
 - ・入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合

- ④いったん受理した出願書類は返還いたしません。
- ⑤氏名等に旧字体等が含まれている場合は、常用漢字の代替となる文字にて対応することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ⑥成績証明書、卒業（見込み）証明書は日本語または英語で作成されたものを提出してください。その他の言語の場合は、日本語または英語に翻訳し、大使館・領事館等の公的機関、もしくは出身学校（日本語学校含む）で、原文と翻訳文の内容に相違がないという証明を受けたうえで、原文と翻訳文を提出してください。

（6）受験に関する注意事項

- 【受験票】 出願期間締切日後 10 日以上経過しても受験票が届かない場合は、入学広報グループまで問合せてください。面接試験当日、受験票を忘れた場合は、会場の係員に申し出てください。
- 【集合時間】 受験票とあわせて面接集合時間を通知します。指定された面接集合時間は厳守してください。
- 【遅刻】 面接集合時間から 20 分以上遅刻した場合は、試験放棄（欠席）とみなします。ただし公共交通機関の遅延・交通事故・その他やむを得ない事情で遅刻した方（スクールバスの遅延は含まない）は、試験会場の係員に申し出て指示を受けてください。
- 【不正行為】 試験妨害行為、不正行為があった場合は、ただちに受験の停止を命じ、その後の受験は認めません。

合格発表

試験種別	一次審査合格発表	合格発表日
前期	10月5日(月)	10月16日(金)
後期	2027年2月5日(金)	2027年3月4日(木)

- 受験者全員に対し、合格発表日に可否通知を速達郵便で発送します。
- 一次審査合格者には「二次審査(面接選考)の案内」を送付します。二次審査合格者には合格通知書と入学手続書類を送付します。
- 学内掲示による発表は行いません。
- 可否結果に関する問合せには一切応じられません。
- 郵便事情等により、通知文書の到着が遅れる場合があります。

スカラシップ(特別奨学生)制度

本学大学院で学ぶことを強く志望し、選抜試験における成績が特に優秀な学生に対して年間授業料の半額を2年間免除する制度です。

対象者	奨学金額	給付期間	選考方法	人数
2027年度大学院選抜(前期・後期)による入学者	425,000円 (返還不要)	2年間	大学院選抜(前期・後期)の成績により判断	若干名

※初年度納付金のうち、第4回納付時に425,000円を減免する方法で給付(2年次は後期納付時に減免)

※1学年末に成績(GPAや修得単位数等)をもとに継続審査を行う

※合格発表日に該当者に通知

学費

学費(2027年度予定)

〈初年度〉

	入学時手続金		第3回納付額 (6月末)	第4回納付額 (10月末)	合計
	1次	2次			
入学金	200,000円	——	——	——	200,000円
授業料	——	212,500円	212,500円	425,000円	850,000円
教育充実費	——	75,000円	75,000円	150,000円	300,000円
合計	200,000円	287,500円	287,500円	575,000円	1,350,000円

※初年度第3回以降は、口座自動引き落とし(口座振替)により、納入いただきます。

諸費内訳(2027年度予定)(2年分)

学生教育研究災害 傷害保険・付帯賠償 責任保険料	2,430円
教育後援会費	24,000円
学友会費	12,000円
合計	38,430円

※入学時(2次)には、学費以外に上記諸費の納入が必要となります。

(2年生)

	前期納付額 (4月末)	後期納付額 (10月末)	合計
授業料	425,000円	425,000円	850,000円
教育充実費	150,000円	150,000円	300,000円
合計	575,000円	575,000円	1,150,000円

※上記に加え、卒業年次には同窓会費として15,000円を納入いただきます(内部進学生を除く)。

入学手続

- ・入学時手続金の納入および必要書類の提出をもって手続完了となります。指定期日までに手続を完了しない場合は入学を取り消します。
- ・入学時手続金は2段階納入とし、1次手続で入学金、2次手続で入学金以外の入学時手続金を納入してください。後期日程の合格者は、指定の期日までに入学金を含む入学時手続金を納入してください。
- ・入学金は入学年度のみ納入していただきます。**なお本学卒業生は入学金が全額免除となります。**
- ・本学園卒業生・在学生の父母、子弟子女または兄弟姉妹の方（親子または兄弟姉妹が同時に合格した場合はそのうち1名を除いた方）は**入学金が全額免除となります**。詳細は入学広報グループまでお問合せください。
- ・いったん納入された入学金はいかなる理由があっても返還いたしません。
- ・2次手続を完了された方に、入学許可書を発行します。入学許可書は2次手続締切日後、1週間程度で送付します。

<納付金の返還について>

- ・入学手続後、入学を辞退する場合は「入学辞退届」（2027年3月23日（火）までにお電話で入学広報グループまで請求してください）に必要事項を記入し、**2027年3月末日までに入学広報グループへ提出してください。**入学金以外の納付金を返還します。ただし、事務局休業日（土曜・日曜・祝日を含む）は受付できません。なお、提出期限以降に辞退の申し出があった場合については、「学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償責任保険料」「教育後援会費」「校友会費」のみを返還します。

事前確認

研究領域や内容について担当教員の指導可否の確認のため、希望者にはメールによる事前確認を行っています。希望される場合は、注意事項および申込方法を確認のうえ、下記の期間に申込んでください。事前確認申込期間終了後、順次メールにて回答します。申込状況等により、回答が遅れる場合があります。

<注意事項>

- ・事前確認では指導や講評は一切行わず、入学後の指導を約束するものでもありません。
- ・指導教員は入学後に面談のうえ決定します。希望する教員が指導教員にならない場合もあります。
- ・事前確認は出願にあたって必須ではありません。事前確認を行わなくとも出願は可能です。
- ・期間外の申込は受け付けできませんのでご注意ください。
- ・担当教員については教員情報一覧（P.10～）を参照してください。

	前 期	後 期
事前確認申込期間	7月21日（火）～23日（木）	10月6日（火）～8日（木）

<申込方法>

メールにて下記の必要事項を記入し、必要データを添付して申込んでください。

宛 先：jizen@kyoto-saga.ac.jp

件 名：「〇〇先生 事前確認希望」 ※〇〇には確認希望教員名を入れてください。

本 文：①氏名・フリガナ ②電話番号 ③確認を希望する教員名（1名のみ）

メール添付データ：①入学願書（様式1）②研究計画書（様式3）③作品データ

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

教員名	京都 絵美	北島 文人	池上 真紀
研究ジャンル	日本画・古画研究	日本画研究	日本画・古画研究
職位	准教授	准教授	講師
教員の研究テーマ	1：模写および日本画制作を通じた東洋絵画の材料・技法研究 2：製糸技術と画絹の性状に関する研究	日本画における対象表現の特質と技法の研究	作品に込める作為と付加価値について
教員の研究テーマ説明	日本・東洋絵画の支持体や色材の特性を深く探求し、自己の表現へ昇華させる。 材料研究では、特に画絹について、文献史料や作品の調査、実地取材等からその歴史の変遷を考察し、実験試料を用いた分析や模写を通して、絹糸の性状が絵画表現にもたらす影響を明らかにする。	写生により対象と向き合い、対象を深く観察することから自身の日本画表現に展開させていく。そのとき自分の内面から表出される感覚や感情など、形のないものも表現の要素として探求する。 そしてそれらを表現するための技法研究。	時の流れの中で作品に刻まれる劣化の痕跡、人々の祈りや想いの積層。こうした作者の意図を越え作品に付加される新たな価値と、作者が込める作為との関係性について探求する。
指導テーマの参考例1	粉本に基づいた想定復元模写研究	「日本画における描く対象としての有形と無形の表現研究」	「日本画とは何かに向き合う意味」
指導テーマの参考例2	画絹の素地加工とその視覚的効果に関する研究		「模写による学びの多様性と活用」
キーワード	日本画、絹本絵画、古画模写 文化財保存（材料学）	日本画、写生、日本画表現、 日本画材料学	日本画、古画模写、文化財保存修復

教員名	山本 直樹	加納 俊輔	中田 有美
研究ジャンル	油画・インスタレーション研究	版画・写真研究	絵画、インスタレーション
職位	教授	講師	准教授
教員の研究テーマ	感覚、記憶、社会に関する絵画、インスタレーション研究	写真や映像を用いた視覚的表現の研究	1：鏡のない自画像の制作 2：絵画の複数性の研究
教員の研究テーマ説明	視覚による芸術表現だけでなく、聴覚、触覚、嗅覚、味覚による素材/機材も表現として扱いながら、現代の社会状況をテーマに絵画やインスタレーションで展開、記憶に刻む研究・作品制作を行っている。	写真（を撮る／を視る）を主なメディアとして扱い、イメージと物体の関係性についての考察を軸に、「見る」という体験を捉え直す試みとして平面、立体、映像と多岐の表現形態での作品制作	1：作者像のない自画像表現を現代的なメディア・描法を用いたプロセスで制作する。その上で出現する絵画制作上の問題である、画像と絵の具の関係や、レイヤーとテクスチャの問題について研究する。 2：描かれた図どうしの関係、タブローどうしの関係、タブローと展示空間の関係など、2つ以上の鑑賞要素がお互いにつぶかり合い、同時再生されることによる鑑賞効果について、制作を通して研究する。
指導テーマの参考例1	「視覚のノイズと色について」	「時間を内包する像—重なり／浸透／ずれによる視覚的揺らぎ」	
指導テーマの参考例2	「不在の中の存在」の表現研究（生成AIを通じて再考する写真芸術と絵画芸術の接点）	「手の運動が生む反復とズレドロウイング的身体性と版技法の表現研究」	
キーワード	絵画、油画、ドローイング、 インスタレーション、現代美術	写真、映像、版画、絵画、現代美術	油画、モダンテクニック、画像、 レイヤー、平面インスタレーション

2026年度実績による参考資料です。2027年度以降の担当教員については、退官や新任等により教員編成が変更となる可能性があります。

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

教員名	日野田 崇	中西 信洋	山内 麻起子
研究ジャンル	陶芸・立体研究	彫刻・インスタレーション研究	空間造形・インスタレーション研究
職位	教授	准教授	准教授
教員の研究テーマ	陶造形を中心とした表現、音楽の構造に基づいた「手色形楽」の造形	時間と身体を通じた彫刻的表現の研究	既存空間にフィットする造形表現についての研究
教員の研究テーマ説明	陶素材を使った立体造形と、その空間における展示方法を研究。その具体的な展開として、隣接する芸術分野である音楽、特に20世紀後半以降のポピュラー音楽の楽曲構造から示唆を得た色彩や構成にもとづく「手色形楽」の分野を提唱、実践し、日本語の「美術」の代替概念としてのあり方を模索している。	彫刻というものを素材や手法の枠で捉えるのではなく、時間と空間をつなぐ身体を軸とした表現として捉え、ものの周囲を取り巻く余白や、空間に着目した彫刻的表現についての研究をしている。	空間はあらゆる「行い」の存在を許容する基盤であるという認識に基づき、その空間に対して人が行う作用、表現の対象となり得るたくさんの可能性を造形作品という視点から考察します。
指導テーマの参考例1	「陶磁器作品制作におけるベトナムと日本文化の融合およびその技術的な探究」	「触覚性を通じた空間表現の可能性について」	場所と作品が響き合うような創造体験を通して、空間認識と表現力を深める研究
指導テーマの参考例2	「陶素材によるキャラクター表現の探求」	「時間を軸とした彫刻表現についての研究」	
キーワード	立体、陶芸、インスタレーション、工芸、現代美術、手色形楽	彫刻、インスタレーション、映像、現代美術	彫刻、インスタレーション、現代美術

教員名	藤田 文則	井上 大輔	嶋崎 依里
研究ジャンル	グラフィックデザイン研究	現代アート・UI/UXデザイン・デジタルテクノロジー研究	コミュニケーションデザイン研究
職位	准教授	准教授	講師
教員の研究テーマ	グラフィックデザイン ビジュアルコミュニケーション	もの派再考、および、アート・デザイン・ビジネスを横断する創造的実践	1：可変的なグラフィック表現の研究 2：デザイン教育の民主化に向けたアプローチ
教員の研究テーマ説明	グラフィックデザインにおけるコミュニケーションと表現の可能性を探る	現象的素材と身体性を軸に、世界の“ゆらぎ”を可視化する表現を探究している。水や風、光といった不定形かつ時間性を伴う素材を通じて、鑑賞者の知覚や記憶に作用させると同時に、風土と造形の関係や自然観における循環性に着目。アートとテクノロジーを媒介に、企業との協働をはじめ、社会やビジネスの現場における応用的実践へと展開している。	1：媒体、文脈、受け手との関係に応じて変化・展開するグラフィック表現について研究する。 2：専門教育を受けていない学習者を含む多様な人々にひらかれたデザイン教育のあり方を探り、教育プログラムの開発を行う。
指導テーマの参考例1	「ビジュアルデザインとノンバーバルコミュニケーション」	アート思考とデザイン思考を融合させた戦略的探求	「パッケージデザイン制作プロセスのデザイン教育への応用」
指導テーマの参考例2		VR、AR、MRやメタバースなどの情報化社会の在り方についての調査/研究/実践	
キーワード	グラフィックデザイン、 ビジュアルコミュニケーション、 ピクトグラム、マーク	アート、デザイン、ビジネス、 デジタルテクノロジー 東洋哲学、社会連携	デザイン学、コミュニケーションデザイン、 グラフィックデザイン、パッケージデザイン、 デザイン協働、デザイン教育

2026年度実績による参考資料です。2027年度以降の担当教員については、退官や新任等により教員編成が変更となる可能性があります。

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

教員名	辻 勇佑	奥田 一生	池上 典衣
研究ジャンル	ビジュアルデザイン研究	イラストレーション研究	イラストレーション研究
職位	教授	准教授	講師
教員の研究テーマ	ビジュアルコミュニケーションにおける視覚言語の多様な展開を研究	1：時代を超えた文化の融合によるイラストレーション表現の研究 2：面と線による生物の力強さ・奇妙さ・美しさの研究	1：言葉とイラストレーションの関わりの研究 2：子どもの発達と表現の研究
教員の研究テーマ説明	視覚伝達におけるメッセージを構築するための素材のイラストレーション、写真、タイポグラフィ、配色、割付などの視覚言語について適切に伝達するための表現を、時代性などの背景を考慮して構築する方法を研究する。	1：昔より受け継がれる文化と現代の文化とを融合しつつ常に変化する文化に向けてのイラストレーション制作研究。 2：日本の文化から生まれた「平面の絵」「線画」を主な表現とし人工物の環境によって姿や印象を変える、生物の力強さ・奇妙さ・美しさの研究。	1：絵本等、物語を表現するイラストレーションの制作。文字とイラストレーションの関わりについての研究。 2：子どもの発達を理解し、自然×アートのキーワードでワークショップなどを行う。
指導テーマの参考例 1	「日中漢字書体における絵文字表現の融合に関する研究」	「現代に求められる情報を反映したイラストレーション表現の研究」	「文字デザインに着目した絵本の制作」
指導テーマの参考例 2	「文字を認識するより以前の子供に対して、五感で体験できる本」		「自然あそび×表現あそびのワークショップ研究」
キーワード	グラフィックデザイン、 ビジュアルコミュニケーション、 タイポグラフィ、パッケージ、 ディスプレイ	イラストレーション、絵本、 ビジュアルデザイン	イラストレーション、絵本、 文字、自然、子ども

教員名	安齋 レオ	下西 紀	敷城 こなつ
研究ジャンル	キャラクターデザイン研究	映像・アニメーション研究	キャラクター・アニメーション研究
職位	教授	教授	講師
教員の研究テーマ	POP カルチャー、キャラクターデザイン、特撮・アニメーション研究 映像映画研究、フィギュア造形研究	デジタル・ヒューマニティーズによる文献研究	キャラクターコンテンツ キャラクター2D作画アニメーション 企画制作
教員の研究テーマ説明	POP カルチャーに関する研究。 日本の POP カルチャーを専門に研究している。アニメ、漫画、ゲーム、キャラクターコンテンツ全般、それらのキャラクターデザインに於ける考察。また先端的絵画表現の研究も行っている。	中国最古の地理書とされる「山海経」を研究対象とし、その世界観をビジュアル化、数値、データ化することによりこの文献を検証している。	1：アプリゲーム、ライトノベルなど商業イラストにおける企画と需要の制作研究。 キャラクターコンテンツの企画制作研究。 2：2D作画アニメーションの企画制作研究。 インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル ICAF や TAAF 東京アニメアワードフェスティバルへの学生作品の展覧指導
指導テーマの参考例 1	「キャラクターのバリエーションによる表現展開の可能性について」	「剪纸と CG アニメーションの融合」	地域社会の問題解決になるためのキャラクターコンテンツの企画研究
指導テーマの参考例 2	「平面作画されたキャラクターの立体表現の可能性を探る」		視聴者が共感できるテーマを基にしたキャラクターストーリーアニメーションの企画研究
キーワード	キャラクターデザイン、 フィギュア造形技術、漫画、アニメ、 ゲーム、映画、POP カルチャー	映像、ムービー、アニメーション、 3DCG、デジタルエフェクト、 デジタル・ヒューマニティーズ、 データサイエンス	キャラクターコンテンツ、 アニメーション、ゲームデザイン

2026年度実績による参考資料です。2027年度以降の担当教員については、退官や新任等により教員編成が変更となる可能性があります。

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

教員名	ミカヅキ	中村 エイト	大谷 史乃
研究ジャンル	キャラクターデザイン研究	イラストレーション研究	染織・テキスタイル研究
職位	講師	講師	講師
教員の研究テーマ	独自性のあるキャラクターを作る方法の研究	キャラクターデザイン、イラストレーションの研究	1：染織を中心とした美術表現に関する研究 2：国内外の染織文化や産業に関する調査研究
教員の研究テーマ説明	1：キャラクターの表情、ポーズだけでなく外見や装いなどキャラクターを構成する要素一つ一つに意味を持たせることによって、見る者の想像力を掻き立てるようなキャラクターを作る方法を研究。 2：キャラクターと縁起物の親和性を探求し、イラストレーションで表現。	キャラクターデザインやイラストレーターの世界から商業作品におけるそれらの変遷を研究し、将来における可能性を検証・考察する。	染織技法・素材に関する知識や技術は多岐にわたり、ひろく物作りや生活に関わるものである。そのような視点から、 1：技法・素材・目的といった諸要件を解きほぐし、それらの構成や関わりについて制作研究している。 2：各地の環境で得られる素材や、人々の工夫や知恵の痕跡としての技術を、作り手の視点から調査している。
指導テーマの参考例1	ストリートファッション・カルチャーとキャラクターの関係性について	「商業作品におけるキャラクターデザインの流行と変遷」	「着物のアップサイクルにおける工芸技術の運用に関する研究」
指導テーマの参考例2			
キーワード	キャラクターデザイン、イラストレーション、ファッション	キャラクターデザイン、イラストレーション	工芸、伝統工芸、染織文化、テキスタイル産業、現代美術

教員名	小畑 博正	有坂 あづ美	芳野 明
研究ジャンル	観光デザイン研究	文化デザイン、芸術教育	西洋美術史・博物館学研究
職位	教授	講師	教授
教員の研究テーマ	観光デザイン、観光文化、観光政策、観光社会	アートワークによる地域コミュニティ形成の実践研究	1：イタリア美術に関する研究 2：博物館学研究 3：無形民俗文化財研究
教員の研究テーマ説明	観光とは地域住民が主体となって、自らの意思で取り組みを推進していくことが潮流となっています。地域のアイデンティティが伴った持続可能な取り組みのダイナミズムが研究テーマです。	暮らしの中にある地域コミュニティが、近年、「個」のあり方を重視する価値観によって希薄化している。一見、個人にとっての理想的な空間のように感じられる「個」の世界が、社会的孤立につながるのではないかと焦点を当て研究を行っている。具体的には、地域の資源を基にしたアートワークショップによって、人と人が、個と個が、いかにつながれるかを地域住民とともに検討、実践している。	1：イタリア美術、とくに彫刻に関する研究。ルネサンス以降の美術を中心に、美術にまつわる概念の変遷や非ヨーロッパ地域での受容のあり方などを研究している。 2：博物館学全般。展覧会の企画・運営・展示等々の実践研究を行っている。 3：重要無形民俗文化財「嵯峨大念佛狂言」に関する歴史的・芸術的研究。嵯峨大念佛狂言の成立とその伝承について、史・資料に基づく研究を行っている。
指導テーマの参考例1	「食」による持続可能な観光地域づくり —地域アイデンティティを核とした地域ブランドの創出—	地域コミュニティにおける子ども会の役割と可能性に関する研究	「芸術教育における文化学習の研究 —総合的アプローチに焦点をあてて—」
指導テーマの参考例2			
キーワード	観光資源、フードツーリズム、エンターテインメント、ツーウェイツーリズム、ダークツーリズム、バスク、バルリン	地域文化、地域コミュニティ、芸術教育	西洋美術史、彫刻、博物館

2026年度実績による参考資料です。2027年度以降の担当教員については、退官や新任等により教員編成が変更となる可能性があります。

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

教員名	佐藤 文郎	井上 治	ホール・ウィリアム・ロス
研究ジャンル	文化芸術理論研究	伝統文化研究	言語学習・学際的な研究
職位	教授	教授	准教授
教員の研究テーマ	フランス文学に関わる研究。	日本の伝統文化の歴史や思想	1：言語学習と視覚の関係について 2：英語学習における美術鑑賞と表現
教員の研究テーマ説明	20世紀初頭フランスの詩人アポリネールの作品（詩、小説、美術・文芸評論）研究。（アポリネール研究を通して、旧約・新約聖書学、西洋宗教史、西洋思想文学全般の研究を行っています）ペル・エポック期および大戦間（1914-18）の文学および美術思潮の研究。同時代の社会思想研究。	1：東アジアの中の日本という枠組みで見た華道史の再考。 2：華道の思想に内在する自然観や宗教観についての研究。	1：感覚的な立場から言語学習の可能性、とくに両眼視を用いた実験的な言語学習法を追求している。 2：アート鑑賞と表現を通じたより効果的な英語学習法の可能性を研究している。
指導テーマの参考例1	「秦氏をめぐる映像作品の制作研究」	「いけばなと日本美術における植物表現」	「美術と言語を融合した研究」
指導テーマの参考例2			「英語教育」
キーワード	西洋思想、西洋文学、人文社会、宗教思想	華道、芸道、自然、時間	言語学習、美術鑑賞、視覚、学際的

教員名	植田 憲司
研究ジャンル	博物館学、現代美術、メディア論、デジタルアーカイブ研究
職位	准教授
教員の研究テーマ	1：メディア論・メディア美学の観点から芸術と情報環境に関する研究 2：タイムベースト・メディア作品の保存に関する研究 3：博物館学および現代美術（メディアアート、キュレーションを含む）に関する研究
教員の研究テーマ説明	メディア論・メディア美学の観点から、美術と情報環境の関係について研究している。特にメディアアートや写真・映像を対象に、タイムベースト・メディア作品の保存や展示のあり方、デジタルアーカイブの課題について検討を行っている。こうした問題を通じて、美術館・博物館における文化資料の継承と活用の可能性について考察している。
指導テーマの参考例1	
指導テーマの参考例2	
キーワード	現代美術、メディアアート、写真、博物館学、デジタルアーカイブ、文化資源、保存・修復

2026年度実績による参考資料です。2027年度以降の担当教員については、退官や新任等により教員編成が変更となる可能性があります。

入学願書

受験番号	※
受付日	※

※印の欄は記入しないでください

<p>志願者 写真貼付</p> <p>背景なし、上半身、 脱帽、正面向、 3か月以内に撮影したもの カラー・白黒いずれも可 (縦 4cm×横 3cm)</p>
--

(注) 文字はすべて楷書でペン書き(黒)とし、数字は算用数字を用いてください。

試験種別	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	
(フリガナ)		
氏名	(姓)	(名)
英字氏名 (留学生)	(Surname)	(Given name)
性別	男 ・ 女	生年月日 (西暦) 年 月 日生
現住所 (通知等連絡先)	〒 -	
	Tel () -	携帯電話 Tel () -
メールアドレス		
緊急連絡先	〒 -	
	(フリガナ) 氏名	(本人との関係)
	Tel () -	携帯電話 Tel () -
出身大学等	国立 公立 私立	大学 学部
		学科 専攻・コース
	(西暦) 年 月 日	卒業・卒業見込

※入学検定料納入証明書 貼付欄

2027年度 嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 [修士課程]

受験番号	※大学記入欄	
フリガナ		
氏 名	(姓)	(名)
英字氏名 (留学生)	(Surname)	(Given name)
出身大学等	大学	学部
	学科	コース・専攻

※受験番号欄は記入しないこと
 ※必要事項を記入、またはマルで囲んでください。

〔作品・研究論文自己作成証明書〕

- 一次審査 ポートフォリオまたは研究論文
- 二次審査 面接持参作品

上記の作品・研究論文は、志願者である私（誓約者）が制作・執筆したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

年 月 日 誓約者氏名（自署）_____

2027年度 嵯峨美術大学大学院
芸術研究科 [修士課程] (留学生用)

受験番号	※
------	---

受付日	※
-----	---

※印の欄は記入しないでください

志願者調書

※すべてボールペンで記入

フリガナ		
氏名	(姓)	(名)
英字氏名	(Surname)	(Given name)

学歴 (小学校入学から最終出身校までの経歴を書いてください)

学校名	国・所在地	在学期間 (西暦)	在学年数
		年 月～ 年 月	年
		年 月～ 年 月	年
		年 月～ 年 月	年
		年 月～ 年 月	年
		年 月～ 年 月	年
		年 月～ 年 月	年

日本語学習歴

学校名	国・所在地	在学期間 (西暦)	在学年数
		年 月～ 年 月	年
		年 月～ 年 月	年
		年 月～ 年 月	年

日本語能力の証明 (受験歴のあるものに記入、および該当するものに☑(チェック)を入れてください。)

日本留学試験 (EJU) 受験番号		日本語能力試験 (JLPT)	<input type="checkbox"/> N1 , <input type="checkbox"/> N2
----------------------	--	----------------	---

職歴等（職務経験のある方のみ記入してください）

勤務先・研究機関等（職種）	国・所在地	在職期間（西暦）	在職年数
()		年 月～ 年 月	年
()		年 月～ 年 月	年
()		年 月～ 年 月	年

その他の履歴（学会発表、留学、展覧会歴など）

内 容	期間（西暦）
	年 月～ 年 月
	年 月～ 年 月
	年 月～ 年 月
	年 月～ 年 月

2027年度 嵯峨美術大学大学院
芸術研究科 [修士課程] (留学生用)

学費支弁に関する誓約書

嵯峨美術大学
学長殿

フリガナ

氏 名

英字氏名

生年月日(西暦) 年 月 日

現住所

国 籍

上記の者が貴学に在学中、学費等に関して責任を持って支弁することを
誓約いたします。

学費支弁者

フリガナ

氏 名

生年月日(西暦) 年 月 日

本人との関係

現住所

電話番号

職 業

誓約年月日(西暦) 年 月 日

学費支弁者署名

志願者・学費支弁者の氏名は必ず本人が自署してください。(すべてボールペンで記入)

受験番号	※	受付日	※
------	---	-----	---

※印の欄は記入しないでください

個人情報の取り扱いについて

この冊子は本学出願希望者への入試関連情報の提供を目的として作成したものです。出願受付に際して本学が受け付ける出願者の情報は、個人情報保護法に基づき厳正な管理を行い、出願者への入試に関するご案内・情報提供以外の目的には一切使用いたしません。



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

学校法人 大覚寺学園

嵯峨美術大学

嵯峨美術短期大学

住所：〒616-8362 京都府京都市右京区嵯峨五島町1番地

電話：075-864-7878（入学広報グループ直通）

アクセス：京都バス・市バス「車折(くるまざき)神社前」下車 徒歩約3分

京福嵐山線「車折(くるまざき)神社」駅下車 徒歩約5分

阪急嵐山線「松尾大社」駅下車 徒歩約20分（スクールバス運行約5分）

JR 嵯峨野線「嵯峨嵐山」駅下車 徒歩約15分

本学の入学に関するご質問は入学広報グループまでお問合せください。

[TEL : 075-864-7878(直通) / mail : nyushi@kyoto-saga.ac.jp]